

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	株式会社 NTT ふらら
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	<p>既にブロードバンド市場は今までの競争政策によって事業者間の競争市場が形成されており、ISP 料金やブロードバンド料金は十分に下がっていると認識しています。ブロードバンド利用率の向上には、コンテンツ・アプリケーションの活性化が有効と考えます。</p> <p>現在、コンシューマー向けブロードバンド対応コンテンツの中で最も普及しているもののひとつは、IPTV や VOD といった TV 向け映像サービスです。例えば「ひかり TV」は既に 100 万人以上の方がブロードバンドを利用し、TV 向け映像コンテンツを楽しんでいます。</p> <p>このようにブロードバンド利用率向上を更に実現するためには、生活に密着した魅力あるブロードバンドコンテンツ・アプリケーションの活性化に注力することが重要と考えます。</p>